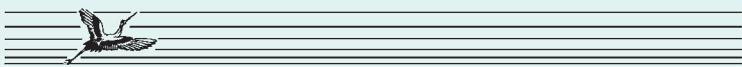


高岡市老連だより



2021 6月号

第30号

令和3年6月1日発行

編集 高岡市老連文化教養委員会
発行 高岡市老人クラブ联合会

高岡市博労本町4番1号 TEL (23) 7900

Eメール sirouren@aroma.ocn.ne.jp

ホームページ <http://takaoka-rouren.jp>



令和3年1月13日(水)、「新湊すし塾」で、すし握りの体験講習会が開催されました。これは、(公財)富山県老人クラブ联合会 女性委員長の浅田 清美さんの提案で、自分で握る醍醐味を味わうとともに、寿司文化の継承や世代間交流に活かすことを目的に開催されたものです。(浅田さんは、高岡市老連の女性委員長も兼任されています)

高岡市老連から参加された方々
浅田 清美 さん(上写真 左側)
大道 悦子 さん(上写真 右側)
木間 美也子さん(左写真最前列左)

新年度のご挨拶



令和三年度のスタートにあたり、会員の皆様にご挨拶申し上げます。令和二年度は新型コロナウイルス一色で、会員の皆様におかれましては、不自由な生活に難儀されたこととお察し申し上げます。令和三年度に入り、徐々にではありますが、ワクチン接種も始まっており、ほどなく通常の生活が戻ってくるものと確信しております。

さて、毎回申し上げていることですが、我が国は超高齢化社会を迎え、社会保障費の増大、財政再建といった困難な課題に直面しています。子や孫の代に「つけ」を残さないことは誰もが願うことですが、そのためにも高齢者が元気で楽しく過ごす、高齢者が高齢者を支える自立社会を作ることが重要であり、老人クラブ活動の意義もここにあります。国や公共団体に頼るだけでなく、自分たちでできることは自分たちで行う社会の構築が、今必要なのです。

とは言え、市老連を含め、全国の老人クラブは、会員減少、後継者不足からの単位クラブの解散といった厳しい問題を抱えています。その原因については、生涯現役といった時代要請や、活動がマンネリ化していること等が考えられます。対策としては、会員に最も近い位置にある単位クラブ活動を活発化することにあります。そこで活動を通じて仲間作りの輪を広げていかなければなりません。そのためには、単位クラブの活動が魅力あるものでなければならず、魅力ある活動・行事を進めるためには当然、①役員体制の見直し、②世代の違いを視野に入れた行事の企画、③活動原資が不可欠です。市老連の令和三年度の基本方針、重点施策は、次ページ以下に掲載しておりますが、その考え方は、市老連、地区老連、単位クラブの事業の中で重複するものは中止し、そこから捻出した活動原資をより会員に近い組織に配分することにあります。市老連は、単位クラブ、地区老連、ブロックの自主性を尊重し、これらの組織が創意工夫した活動を展開しやすいように支援してまいります。

同時に、老人クラブに関係する団体として、社会福祉協議会、公民館、自治会等がありますが、いずれの団体の活動も高齢者も対象とするところから、重複した活動となっており、ここは縦割り組織の活動に横串を刺す意味で、他団体と連携できる事業については、共同開催を進めてまいりたいと考えています。終わりに当たり、ワクチン接種が始まったとは言え、変異株の発生等、令和三年度も引き続きコロナ禍には十分留意する必要があると思っております。会員各位におかれましては、くれぐれもご自愛願います。

高岡市老人クラブ連合会

会長 小山 智克

令和3年度 定期総会

開催日 令和3年4月22日(木) 14時～
場所 ウイング・ウイング高岡

令和3年度の定期総会が、来賓、役員、代議員200名が列席の中、ウイング・ウイング高岡にて開催されました。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染懸念から書面開催となったことから、2年ぶりの開催となりました。質疑応答の後、採決し、すべての議案が承認されました。



- 第一号議案 《令和2年度事業実績の報告の件》
- 第二号議案 《令和2年度収入・支出決算報告の件》
- 第三号議案 《令和3年度役員人事(案)承認の件》
- 第四号議案 《令和3年度事業計画(案)承認の件》
- 第五号議案 《令和3年度収入・支出予算(案)承認の件》

【質疑応答】 会員様から次の三点について、質疑がありました。

- 「市老連だより」の配布について、1家族1冊配布できないのか?
《回答》配布前に、地区会長に必要部数を確認しており、地区会長と連絡・調整下さい
- 映画上映会について、上映作品名と内容について
《回答》最終ページを参照願います
- スポーツ事業に対する傷害保険の付保状況について
《回答》傷害保険については、体育祭にのみ付保しており、他のスポーツ事業は自己責任を原則としてきましたが、執行部の中で検討します

【令和3年度の基本方針・重点実施事項】

- 基本方針
 - ① 高齢者の老人クラブ活動への参加を働きかけ、仲間づくりの輪を広げる
 - ② 高齢者の生きがいと健康づくり活動を推進する
 - ③ 高齢者の生活を支える地域支え合い事業を推進する
 - ④ 広報機能の充実・強化を進め、老人クラブ活動を広く周知する
- 重点実施事項
 - ① 老人クラブ活動に参加されていない高齢者に、声がける「一声運動」を進める
 - ② 健康作り活動の一環として、地区老連の「歩こう会」を支援する
 - ③ 「料理教室」の地区展開をはかり、「健康は食から」を実践する
 - ④ 「健康麻雀大会」をスタートさせ、会員のニーズの多様化に応える
 - ⑤ 「趣味の作品展祭」を拡大し、高齢者の生きがい作りに役立てる
 - ⑥ 訪問支援活動リーダーを養成し、地域支え合い事業を強化する

【令和3年度事業計画】

年月日	行 事 名	開 催 場 所
R3. 4. 22	定期総会	ウイング・ウイング高岡
5. 14	ゲートボール大会	福岡屋内多目的広場
6. 1	「市老連だより」発行	
6. 11	グラウンドゴルフ大会	高岡市グラウンドゴルフ場
7. 14	老人クラブ大会	ふれあい福祉センター
8. 26	健康麻雀大会	福岡町にぎわい交流館
9. 9	ペタンク大会	高岡スポーツコア
9. 16	パークゴルフ大会	高岡市スポーツ健康センター
9. 24	高岡市民体育祭「シャフルボード」大会	ふれあい福祉センター体育館
9. 29～10. 1	高齢者「趣味の作品展」	ふれあい福祉センター
9. 30	映画上映会「徘徊～ママリン 87才の夏」	〃
10. 8	カローリング大会	福岡町Uホール
11. 5	単位クラブ会長研修会	うみあかり
12. 1	「市老連だより」発行	
12. 2～3	役員研修旅行	
R4. 1. 14	新年会	
3. 25	冬季シャフルボード大会	ふれあい福祉センター

【令和2年度決算と令和3年度予算】

〈収入の部〉

単位：円

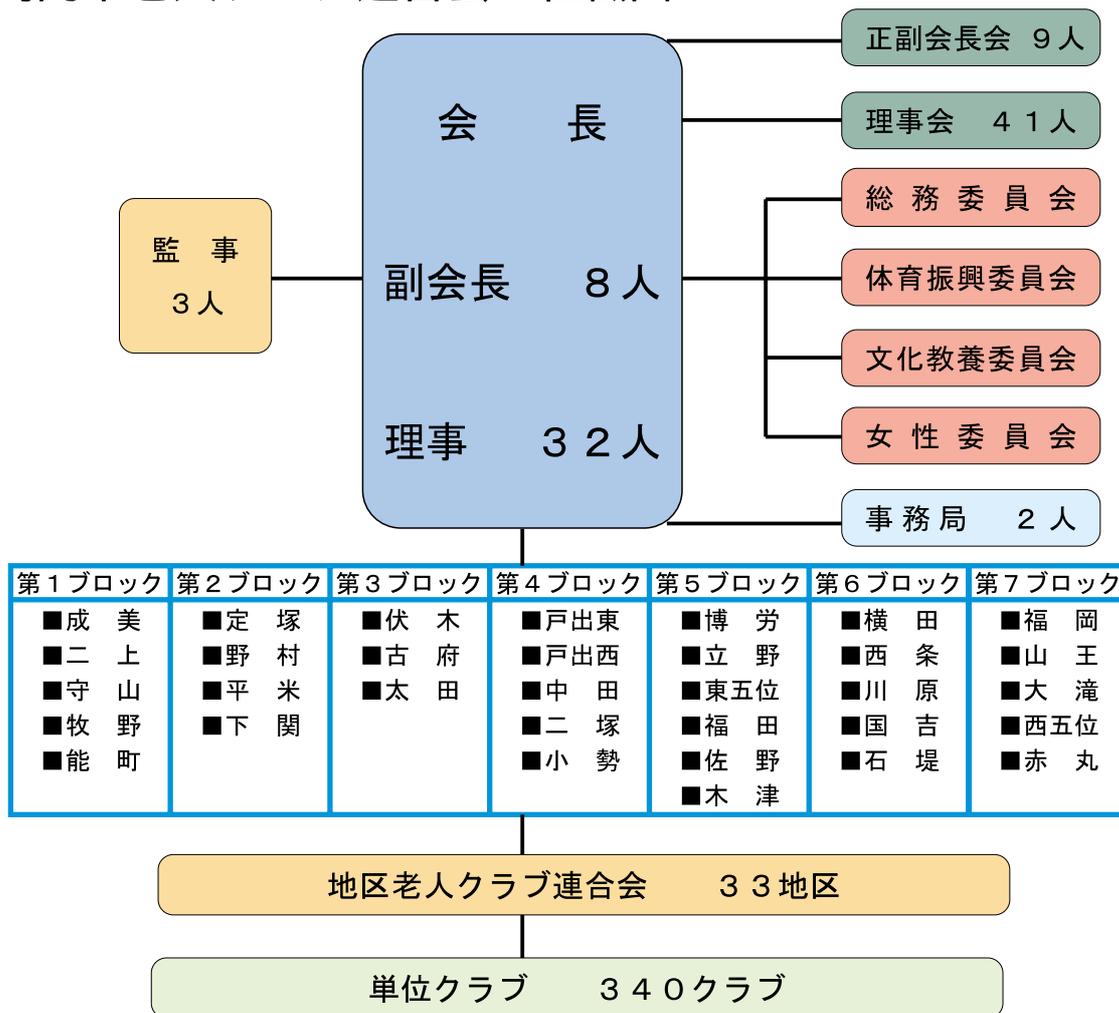
項 目	令和2年度決算	令和3年度予算
会 費	4,214,400	3,814,400
賦 課 金	2,614,880	2,498,480
国県市補助金	3,086,000	3,963,000
県老連補助金	60,000	60,000
県 補 助 金	537,000	500,000
共同募金配分金	200,000	200,000
事業参加費	27,000	1,500,000
スポーツ参加費	132,500	410,000
雑 入	156,722	100,000
繰 越 金	1,180,955	2,875,326
収入合計	12,209,457	15,921,206

〈支出の部〉

単位：円

項 目	令和2年度決算	令和3年度予算
会 議 費	149,974	280,000
事 務 費	3,634,453	3,664,000
総務委員会費	539,123	2,900,000
体育振興委員会費	1,028,571	1,870,000
文化教養委員会費	1,189,100	2,000,000
女性委員会活動費	67,890	680,000
地域活動費	910,000	1,010,000
負 担 金	1,758,340	1,670,000
そ の 他	56,680	480,000
繰越金（予備費）	2,875,326	1,367,206
支出合計	12,209,457	15,921,206

1. 高岡市老人クラブ連合会の組織図



2. 会長・副会長・理事の皆さんをご紹介します

役職	地区	ブロック	氏名
会長	赤丸	7	小山智克
副会長	牧野	1	高桑陸雄
〃	下関	2	柴田利夫
〃	伏木	3	西廣志
〃	小勢	4	村井弘芳
〃	東五位	5	山田孝雄
〃	西条	6	吉田攻
〃	西五位	7	谷口繁治
〃	能町	1	浅田清美
理事	成美	1	塚原樹
〃	二上	1	岩田政治
〃	守山	1	中山忍夫
〃	能町	1	尾間忠則
〃	定塚	2	藤本哲也
〃	野村	2	立川美津夫
〃	平米	2	山崎武司
〃	古府	3	尾間茂
〃	太田	3	吉本隆之
〃	戸出西	4	小川善継
〃	戸出東	4	坂口勇
〃	中田	4	小杉政昭
〃	二塚	4	小栗謙太郎

役職	地区	ブロック	氏名
理事	博労	5	村井修一
〃	立野	5	梶護
〃	福田	5	奥村治作
〃	佐野	5	本田紀代治
〃	木津	5	蔵伊佐夫
〃	横田	6	大多齐二
〃	川原	6	鍛冶友昭
〃	国吉	6	吉田秋夫
〃	石堤	6	横山勲
〃	福岡	7	地崎誠治
〃	大滝	7	前田義則
〃	山王	7	下村成一
特別理事	赤丸	7	澤川岩雄

女性委員会

役職	地区	ブロック	氏名
委員長	能町	1	浅田清美
副委員長	平米	2	岩城正子
〃	古府	3	寺林信子
〃	小勢	4	中村まり
〃	福田	5	島昭子
〃	西条	6	金森映子
〃	山王	7	大道悦子

野村地区 老人クラブ連合会について



〈恵比寿会 立川会長〉

今回は、コロナ禍にもかかわらず、様々な活動を展開しておられる、野村地区老人クラブ連合会（恵比寿会）について、会長の立川美津夫さんにお話を伺いました。

司会 恵比寿会の沿革・現状・課題について

お話し下さい。

立川 恵比寿会は、庄川河川の西側に沿った野村地区を地盤に昭和三十八年に創立されました。令和二年度現在、単位クラブ数十五、会員数七六一名で構成しています。恵比寿会では、恵比寿会大会（米寿、百歳祝い等）、追悼法要や奉仕活動、スポーツ、文化活動らを展開しています。通常の活動に加え、（荻野学級通年六回開催）、講演会、野外学習、体験学習等の活動を

も中心になって実施しています。また、女性部も体験学習、体操教室等、活発に活動しています。

課題は、高齢化に伴い役員をする人がいない為、単位クラブの減少、働き方改革による生活様式の著しい変化で、若い会員の入会が少ないことなどが、結果として会員数が減少しているのではないかと思われます。

司会 令和二年度は、コロナで活動もやりにくかったと思いますが、どのような工夫されましたか。

立川 感染から高齢者を守ろうと題して、「三つの密を避けましょう!」「こまめな衛生的な手洗いの励行」「会食時の注意事項」(少人数)(小一時間)(小声)(小皿)(小まめ)を合言葉に感染防止対策を!実際に間隔を空けてのお弁当を食べながら要点を抑える実施をしました。また、会員全体に伝達が行き渡るよう単位クラブの会長が取り計らいました。新たな活動として「ガラス工房」での体験学習会や、「映画の自主上映会」も実施しました。

司会 「体験学習会」について、詳しくお話し下さい。

立川 「富山ガラス工房」でオリジナルのぐいのみを制作してきました。何名で実施されたのですか。

立川 人数を限定して、二月六日(土)、二十名で体験してきました。バスは、富山ガラス工房で送迎していただきました。もちろん、検温、アルコール消毒、椅子は一人掛けにする等、コロナ感染対策は十分に行いました。

司会 素人がそんなに簡単に作れるものですか。

立川 ガラス工房の学芸員の方に、指導を受けながらの制作ですから失敗はないです。まずは作品の図案からです。ヒアリングをしながら希望の形状、色、模様等を描きました。これこそマイカップ、自分だけの晩酌用にと、皆さん真剣に取り組みました。ガラスと向き合っている顔は、いにしへの自分に戻ったかの様に、真剣な眼差しでした。お酒瓶のプレゼントがあり、心もほろ酔いです。一週間後作品を受け取り、早速市立野村公民館において、ミニギャラリーとして展示。当館利用サークルの皆さんに鑑賞していただきました。それこそ、個性あふれる立派な作品に、これは素晴らしい、観る人それぞれ「いいですね」と感激のお言葉をいただき大いに満足。ガラスのぐい飲みに、目を輝かせ、心は踊り、観る人に喜んでいただいたことが、うれしく思いました。自分なりの至福のひとつ時が、また一つ増えました。



〈ぐい飲み展示会〉

司会 「映画自主上映会」も実施されたのです

ね。

立川 一月二十二日、アートエレクトロンの方

と話し合い、先に試写会も行って実施しました。

司会 費用面とか、上映作品の選定とかご苦労

されたのでは？

立川 安全対策に万全を期し、寒さにもかかわらず、換気しながら参加者四十五名、座席指定するなどして実施しました。

映画題名は「徘徊（はいかい）、ママリン八七才の夏」の上映です。大阪を舞台に、認知症の母と、娘の日常生活での感情、言葉のやりとり、娘が母をずっと

見守っている姿、母娘の関係をユーモラスに描いたドキュメンタリー映画でした。評判は如何でしたか。

立川 一時間十七分の上映でしたが、みなさんは、真剣に観ておられ、他人ごとではなく明日は我が身か？と感じておられた姿に引き締まる思いがしました。笑いもありましたが、もしかしたら、これから訪れるかもしれない不安との戦いが来るにせよ、来場の皆さんと同様、泣き、

笑いで鑑賞することができました。終わりに、皆さんからアンケートを取りました。

「映画は目で訴え、感情が伝わり、とてもよかった」《機会があれば、ドキュメンタリー、笑いを呼ぶ映画をまた上映してほしい》等、評判上々で期待の声が圧倒的でした。

司会 今後の展望についてお話し下さい。

立川 先ほど、会員減少の話をしました、老人会、自治会といった、これまで地域の絆を維持してきた既存団体への加入者

減少は、地域内における人間関係の希薄化を意味しており、心配です。しかしながら、この問題はひとり老人クラブだけで解決できるものではありません。

幸い当地区は、野村公民館と共催事業を進めております。老人クラブにとって野村公民館はなくてはならない拠点です。

司会

これからも、多方面でアンテナを張り巡らせ、各種団体と意見交換し、お互いに助け合い、情報を得ながら取り組みたいと思っております。今後とも、一人でも多くの高齢者に魅力を感じてもらえる老人クラブをめざしていきたいと思っております。

人生前向きで、仲間と共に楽しんで一人でも多くの高齢者に魅力を感じてもらえる、野村地区老人クラブ連合会恵比寿会を目指していきたいと思っております。



〈上映風景〉

「趣味の作品展」祭のご案内

作品展

日本画・書・写真・手芸等の展示

開催時間 9月29日(水) 13時～16時
 9月30日(木) 9時～16時
 10月1日(金) 9時～12時
 開催場所 ふれあい福祉センター

物品販売

野菜・パン・クッキー販売

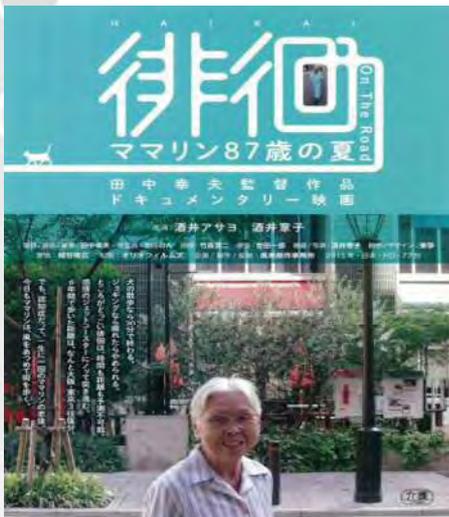
販売日時 9月29日(水) 10時～12時
 9月30日(木) 10時～12時
 10月1日(金) 10時～12時
 販売場所 ふれあい福祉センター

映画上映会

上映映画 徘徊「ママリン87歳の夏」
 開催日時 9月30日(木)
 〈第1部〉 10時～11時30分
 〈第2部〉 13時30分～15時
 上映場所 ふれあい福祉センター

シルバー落語会

出演者 越中家漫欽丹
 開催日時 9月29日(水)
 14時～15時
 開催場所 ふれあい福祉センター



「徘徊～ママリン87歳の夏～」
 2015年/77分/ビスタ
 監督・撮影・編集・制作：田中幸夫
 出演：酒井アサヨ 酒井章子

大阪北浜。
 大都会のど真ん中に、ちょっと訳ありの母娘が住んでいる。
 昼夜の別なく徘徊する母と見守る娘の姿は、近所の誰もが知っている。
 徘徊モードが一息つけば、母娘一緒に居酒屋やバーにも寄る。
 そんな二人の生活は6年になる。
 「老いには勝てぬで、徘徊もショートになっていきましたが・・・」
 不条理な生活をユーモアでしのぐ。
 認知症を受け入れるとは、老いとは、人間とは。
 母娘ズレまくりの掛け合いに思わず大爆笑！
 従来の認知症ドキュメンタリー映画のイメージを変える傑作
 ドキュメンタリーが大阪から生まれました。
 不謹慎にも笑ってしまう、前代未聞も認知症ドキュメンタリー映画！

高岡市老連だより次回発行のお知らせ

今回は令和三年十二月一日の発行を予定して
 います。

できるだけ多くの方の投稿をお待ちしてありま
 す。

○各クラブの活動状況・随想・写真・絵画等
 四百字詰め原稿用紙一〜二枚程度

○「私のお薦めの一冊」コーナーへの投稿
 新型コロナウイルスで在宅時間が増え、読書
 に勤しまれた方も多かったです。

あなたが薦める一冊を、エピソード・理由等
 を添えて、紹介していただけませんか。

四百字詰め原稿用紙一枚程度

○「短歌・俳句・川柳・漢詩等」の投稿
 いつもの市老連だよりでは、紙面の関係で多
 くの方の作品を掲載できませんでした。

○今回から、「俳句・川柳・漢詩等」を別冊と
 し、多くの方に楽しんでいただけるよう新規
 発行いたします。お一人何首でも結構です。

奮ってご投稿願います。

○地区名・単位クラブ名・氏名を明記して下さ
 い。

○投稿して頂いた方には、薄謝を用意しており
 ます。

○締め切り 令和三年十月末 事務局必着